

令和8年度 指定介護老人福祉施設清流園 事業計画

1、個人の人権・意思決定支援の取組

個人の性格、病気に寄り添い、その人らしい生活が維持できるように自己選択、自己決定のできる支援を提供して参ります。

2、個人の思いに沿った関わりの推進

入所時より、看取りケアを念頭に置き、ご本人ご家族の希望に沿ったサービスの提供に努めます。また家族様とも連携して園での生活が豊かなものになるよう対応していきます。

3、感染対策への取組

手洗いうがいの徹底はもちろん、園内に持ち込まないように職員一人ひとりが自身の体調管理のもと、早期の検査で感染予防に努めます。又、ご利用者様の日々の様子観察、検温等で体調の変化を敏感に察知出来るように努めます。

園内での感染が確認された場合、早期の隔離、拡大の防止に努めます。

4、稼働率の維持・向上

入院の利用者様が早く園での生活に戻れるよう、入院先との連絡を密に行います。また身体状況の観察、早期対応を心がけ、症状の重度化を防ぎます。平均稼働率98%を目指します。

令和8年度 清流園地域密着型介護老人福祉施設
事業計画

1、外出支援

アセスメントやヒアリングを行い、利用者様のニーズにあった外出支援を行っていきます。

季節を感じて頂ける場所や、ご家族様と一緒に外出計画を立てる等、ご家族様も一緒に楽しめるような外出支援を行っていきます。

2、感染症対策の取り組み

感染症委員会を中心とした職員に向けての感染症対策研修を定期的に行い、園内での感染症を未然に防ぎ、職員がスタンダードプリコーション(標準予防策)を意識する指導を行っていきます。感染症が発生した時は、看護師、主治医、ご家族様と連携をはかり対応していきます。

3、科学的介護の取組

介護度の高いご利用者の方であっても、負担のないように可能な限りトイレにて排泄して頂くように支援を行っていきます。利用者様ごとに排尿時間や排便時間を分析して、その方にあった時間にトイレ誘導を行うように個別支援をしていきます。

4、稼働率の維持

要介護4、5の方の受け入れと認知度に留意して、他の施設やご家族様とも連携をとり、入所までの期間を短くする事で稼働率98%を目標に取り組んでいきます。

5、短期入所事業の空床利用

長期入院時には空床利用を行い稼働率の維持に努めます。

令和8年度 清流園通所介護事業所
事業計画

1、 1日平均45名（月～金50名・土40名・日20名）の利用者獲得

様々な活動を通して精神と身体機能を活性化、維持することにより、安心と安全の中で在宅生活を継続して頂ける様、利用者様と家族をサポートいたします。

困難ケースや重度の方、ターミナルケア等、多種多様な利用者を幅広く積極的に受け入れ、職員個々の成長とともに、地域の方に信頼される事業所を目指してまいります。

利用者の方が安心・安全に気持ちよくご利用頂けるよう、提供時間・利用者数・人員を勘案し、そのすべてにおいて適正を追求します。

2、利用者の希望・要望が反映し、主体的に自己実現できる時間と空間の提供
《イベント・行事・外出の推進》

プログラムを、これまで以上の形で充実させ実践いたします。これが利用者の満足度へつながり、さらに職員のモチベーションアップへと好循環を生むよう最大限の努力をしております。地域ボランティアの方を積極的に受け入れ、交流・行事等の充実にご協力していただきます。

《究極の自己実現の場であり、自然に交流広がるカラオケルームの活用》

好きな歌、懐かしの歌、思い出の歌など気兼ねなく歌うことが出来る、文字通り究極の自己実現空間です。またカラオケを通して地域の方との交流をはかり、施設やサービスについて広く知っていただく貴重な機会とします。

《機能訓練・日常動作訓練による機能維持と事故防止》

常に利用者様に寄り添った対応を心掛け、利用者様自身の意欲・積極性の維持・向上に努めます。自宅での日常動作を念頭におき、利用時の動作についてアセスメントしケアを行うことで機能維持・事故防止につなげて参ります。

また看護職員を中心に、フットケア、スキンケア、マウスケア、イヤークケアなどに目を向け、浮かび上がる在宅生活の実態を機能訓練に反映していくことで利用者様に必要かつ有効な自立支援サービスを提供します。

3、安定的人材確保・資質の開花と感染症対策

職員一人ひとりが、仕事にやりがいや魅力を感じ、適性・快活に働くことが出来る職場環境づくりに力を入れます。また会議・ミーティングを定期的で開催し、研修を重ねることで資質の開花を促します。そして、もてる力を職員同士が認め合い、それぞれの個性を發揮できる働き方を追究し実現します。

令和8年度 訪問介護事業所

事業計画

1、基本方針

ご利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む営むことが出来るよう配慮して、身体介護、その他生活全般にわたる支援を行います。また、ご利用者の介護状態軽減もしくは悪化防止に資するよう、その目標を設定し、計画的に行い、常に利用者の立場に立ち、サービスの提供に努めます。

2、質の向上

専門職としての自覚を持ち、法令順守はもちろん、ご利用者一人一人の多様な生活、文化、価値観を尊重し、ご利用者の基本的人権の尊重、個人情報保護を厳守します。職員間の連携強化、サービス提供状況の確認、各種連絡、報告、相談等を目的に月1回ヘルパー会を開催します。年間の研修計画を基に、外部研修にも参加して、スキルアップを図ります。

3、情報伝達および報告体制の強化

ご利用者へのサービス提供をチームで行い、ご本人や家族、介護者、ケアマネ、その他各種関連機関との積極的な連携を図り協力して支援します。

4、事故防止、発生時の対応について

サービス提供の際には、安全に考慮した環境を整え、危険リスクを未然に回避できるようにします。ご利用者の健康管理は元より、職員自らも健康管理、感染予防等を行います。

5、実績の向上

居宅支援事業所に空き情報を伝え、訪問の依頼があれば、可能な限り受け入れをします。依頼に答える為に人員の確保をします。

令和8年度目標件数	訪問介護	110名
	総合事業	30名

令和8年度 指定障がい福祉サービス事業所

事業計画

1、居宅介護

個別の支援計画に基づき援助します。関係者で密に連絡を取り状況の把握に努め、精神的に安定した生活が送れるように支援します。

2、移動支援

事前に個別の外出の内容、外出のルート、介助法を把握してご本人の希望も伺い安心して外出できるよう安全第一に心がけ、社会参加を満喫して頂きます。

3、重度訪問介護

複数の事業所で訪問しているケースについて、相談員さんを介して出来るだけ訪問できるように協力し、ご利用者の精神の安定と、家族の負担軽減に努めます。

4、資質の向上

モニタリングを行い、日々の身体面、精神面の状況把握をして情報共有を行いサービスの統一に図ります。又、研修を活用して障がいの特性を学びスキルアップに努めます。

5、安全、衛生

多種のウイルスに感染しないように決まり事を守り、感染防止に努めます。又災害時に速やかに対応できるようにBCP策定を基に定期的に訓練を行います。余裕をもって事故の無いよう努めます。

令和8年度目標件数	居宅介護	10名
	重度訪問介護	1名
	移動支援	3名

令和8年度 清流園短期入所生活介護事業 事業計画

1、おもてなしの心を大切に柔軟な対応の実施

常にご利用者、ご家族の目線に立った対応を重視し、介護負担の軽減に最大限の協力をします。在宅生活での情報を十分に把握し環境面・精神面への配慮を行います。ドライブやタブレットを活用しカラオケ、体操、ゲーム、可能であれば個別活動等の支援で活気ある生活を推進します。傾聴、受容の時間を設け本人からの要望など自己決定を尊重し、ニーズに即したサービスを提供します。

2、利用者・家族との信頼関係

明るく笑顔での対応をモットーにご家族との情報交換を密にし、定期的なアンケートを実施し、円滑な日常生活が営まれ、生きがいが見いだせるきっかけづくりになるよう支援します。

3、稼働率90%

昨年10月より、利用定員が11床から12床となりましたので、定期的に居宅事業所への宣伝や空き情報の提供を実施し、又新規利用の継続に向けて色々なアプローチを工夫し獲得に向けて努力します。

4、感染予防

コロナウィルス、インフルエンザやノロウイルス等の感染予防のため、職員のマスク着用、手指消毒、施設内の消毒等を行います。又、ご利用者には入所時に検温や体調聞取り感染予防に取り組みます。

感染発生時に、やむを得ない事情で利用希望があった場合は、個室対応など感染対策を行い柔軟に対応できるようにします。

令和8年度 清流園在宅介護支援センター 事業計画

1、自立支援及び生活の質の向上に資するマネジメント力の強化

利用者像を把握し、情報を整理、分析をして目指す生活の課題を導き出し、口腔ケアや食事、栄養面を含めた適切なアセスメントに資するように努め、利用者の方がその可能な限り居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように、保健、医療、福祉サービスが効果的に提供されますように努めます。新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の拡大防止の強化を図ります。感染症や災害が発生した場合であっても必要な介護サービスが継続的に提供されますように努めます。

2、要介護更新認定調査、居宅介護支援の受入れ推進

市役所、又は市外からの調査委託の依頼があった場合は、積極的に受け入れます。新規の要介護認定に係る申請につきましては、利用申し込みの方の意思を踏まえて速やかに申請が行えるように支援します。

市役所、あんしん支援センター等からの居宅介護支援、介護予防支援の依頼があった場合は、積極的に受け入れます。

3、事例検討会、研修会への積極的かつ継続的な参加

高齢者の自立支援、要介護状態の重度化防止や地域共生社会の実現、地域包括支援システムの推進を図っていくために事例検討会、研修会に積極的に参加し、支援方法の知識や改善方法等を学び、多様なニーズに対応できるように研鑽を積みみます。事業所内でコミュニケーションを大切に、フォローアップ会議で情報を共有しながら、専門性の向上に努めます。

4、連携の強化

高齢者あんしん支援センターや市役所、医療機関等と連携を図り、支援困難事例につきまして事業所内で対応方法を検討します

令和8年度 清流園地域密着型短期入所生活介護事業所 事業計画

1、個別支援の強化

利用者の方がショートステイでの生活を楽しんで頂けるよう、アセスメントをしっかり行います。ドライブ外出では、ご利用者様のリクエストを取り入れながら、楽しんで頂ける外出支援を行っていきます。退所時には、ドライブ外出や施設でのご様子を手紙や写真でお渡しすることで、ご家族にもその情報を発信していきます。

2、稼働率の維持、向上

空き情報を居宅の介護支援専門員と情報提供し、可能な限り緊急時の入所対応を受け入れていきます。キャンセル時には居宅の介護支援専門員と連携をとり、他の利用者の方を受け入れていきます。特養に入院等で空きベットができた時には、ショートステイとして空床利用する事で稼働率88%を目標に取り組んでいきます。

3、感染症対策

看護師や感染症対策委員会と協力して、職員の感染症対策研修や、手洗い、うがい等の基本的な感染予防策をしっかり行う事で、園内感染を未然に防ぎます。

感染症が発生した場合すみやかに、家族様、介護支援専門員と連携をはかり、ご利用者様の体調管理を行っていきます。

令和8年度 プライム清流園通所介護事業所
事業計画

1、利用者確保にむけた、柔軟な対応

今年の6月に4年目を迎えるにあたり、身体介助が必要な利用者様の受け入れを積極的に行っていきたいと思えます。家庭都合や受診などでの休みが出た場合、希望があれば当日でも利用できるよう柔軟な対応を行います。スムーズな対応ができるよう、平常時から安心して利用して頂けるよう家族様やケアマネジャーとコミュニケーションをはかってまいります。

一日の利用者数を昨年と同じく、14.6人を目指します。

2、地域との関りや個別性を大切にした余暇活動

ご本人様が「したい」「行きたい」と希望される事に、積極的に関わって行くことで、ご本人の満足度が上がり、選んで頂けるデイサービス作りに努めます。ドライブではご本人様の希望を聞きながら、季節を感じて頂けるような場所にでかけます。現地では車から降り、お茶会をするなど、その時、その場所でしか感じる事の出来ない体験を提供できるように努めます。

園内ではトレーニング機器を使い、筋力の維持に努めて頂きます。また指先を使ったゲームや作業を行い、園内に作品を飾るなど利用者様のモチベーションがあがるような関り、声掛けを行います。

3、職員のスキルアップを目指す

4年目を迎え、介護技術の向上を目指し、介護員会や外部の研修に参加することで、介護員の自信につなげます。

令和8年度 清流園研修広場おろち
事業計画

1、介護職員初任者研修の実施

全国的に介護職員の人材不足が深刻しているなか、サービスの質も求められています。地域の介護を担う社会福祉法人として、量だけでなく質を求めるのは当然のことと思います。出雲市を中心とし、島根県下の施設・事業所の介護の質を向上するため、「介護職員初任者研修」を開催します。

目標実施回数：年2回（1回：約3カ月）

2、地域交流の取り組み

法人内の事業所の枠を超えたかかわりができる強みを生かし、各事業所から参加メンバーを募り地域交流を図ります。介護予防・介護状態への対応など地域住民へアプローチをしていき、地域全体で介護について考えて行こうと思います。

目標実施回数：年2回